

平成30年度 八雲養護学校 児童生徒アンケート結果

		そう 思う	多少 思う	どちらか と	どちらか と	ない そう 思わ	H30	H29	比較
1	学校へ行くのが楽しい。	10	2	0	0	0	3.83	3.50	0.33
2	自分から、みんなにあいさつできる。	7	4	0	1	0	3.42	3.42	0.00
3	先生たちは、自分たちの意見をよく聞いてくれる。	11	1	0	0	0	3.92	3.58	0.34
4	授業は分かりやすく楽しい。	8	4	0	0	0	3.67	3.67	0.00
5	自分で調べたり、考えたり、工夫することが楽しい。	7	5	0	0	0	3.58	3.58	0.00
6	先生たちは、いろいろ工夫をして教えてくれる。	11	1	0	0	0	3.92	3.83	0.09
7	先生たちは、自分たちが努力したことを認めてくれる。	11	1	0	0	0	3.92	3.75	0.17
8	先生たちは、困ったときにはすぐに相談にのってくれる。	12	0	0	0	0	4.00	3.83	0.17
9	命の大切さや社会のルール、生活で役立つことを学習している。	8	2	2	0	0	3.50	3.58	-0.08
10	将来の夢や卒業後（進学や生活）に向けた学習をしている。	8	1	3	0	0	3.42	3.08	0.34
11	体育祭や学校祭、芸術鑑賞会などの学校の行事に満足している。	11	1	0	0	0	3.92	3.67	0.25
12	児童生徒会や委員会では、楽しく充実した活動ができています。	10	2	0	0	0	3.83	3.42	0.41
13	学校や病棟に、何でも話せる友達がいる。	9	2	1	0	0	3.67	3.08	0.59
14	できるだけ本を読むようにしている。	5	3	4	2	0	3.08	2.92	0.16

学校をよくしていくために考えていることや、困っていることなどがあれば書いてください。

- ・全校で交流する時間を増やしてほしい（昼休みを5分長く）。（橋田くん）
- ・休憩を長くしてほしいです。（尾崎くん）
- ・休み時間をもう少し長くしてほしい。（岡田さん）
- ・社会、英語、体育の授業をやりたい。（岡田さん）
- ・他の学校との交流は児童生徒のみんなが楽しみにしている行事だと思うので、もっと色々な学校と交流できれば、もっと友だちが増えたり、コミュニケーションがたくさんとれたいと思います。今すぐというわけではありませんが、是非交流できる学校を増やせるか健闘してみほしいです。（中村くん）
- ・児童生徒会活動のイベントで児童生徒と先生方が、よく話し合っ一緒に作り上げていけるとよりよいものができると思っています。（緑川くん）

<考察>

- ・昨年度と比較し「命の大切さや社会のルール、生活で役立つことを学習している。」の項目において数値が下がっていますが、昨年度とは回答した児童生徒が全て一緒ではないため、単純な比較はできません。しかしながら、教職員自己評価においても「学校教育全体を通して、児童生徒が他者への思いやりや豊かな心情を育むための道徳教育の指導に当たっている。」「『考え、論議する道徳』を目標とした授業づくりを心がけ、授業の工夫・改善を行っている。」の項目が平均値を下回っていることから、道徳教育のより一層の充実を図るようお願いします。

- ・昨年度同様に、個人内比較を作成しております。全体の数値の比較だけではなく、別紙の個人内比較を参考にして、児童生徒一人一人が学校生活をどのように感じているのか、また、どのようなことを課題と思っているのかなどを十分に検討し、指導や支援の充実を図っていただくようお願いします。
- ・「先生たちは、自分たちの意見をよく聞いてくれる。」「先生たちは、いろいろ工夫をして教えてくれる。」「先生たちは、自分たちが努力したことを認めてくれる。」「先生たちは、困ったときにはすぐに相談にのってくれる。」などの先生方の指導や支援などについての項目は高い数値なっております。今後も、児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導や支援を継続して行うようお願いします。
- ・「できるだけ本を読むようにしている。」の項目については、全体の項目の中では低い評価となっておりますが、昨年度と比較して数値は向上しており、平成28年度の数値は「2.57」であることから、本校の読書活動の充実に向けた取組の成果が現れていると思われます。今後も、児童生徒の読書活動の一層の充実に向け、担当分掌や図書担当者だけではなく、全教職員で取り組んでいくようお願いします。
- ・「学校をよくしていくために考えていることや、困っていることなどがあれば書いてください。」に5名の生徒から意見が出されました。昨年度は、全ての児童生徒が無記入であったことから、学校生活を充実させるために、どのようにしたらいいか主体的に考える姿勢が育ってきていると思われます。教育課程に関わることもありますので、すぐに対応することは難しいかと思われますが、担当分掌や各学部において検討し、児童生徒の充実した学校生活に向けた取組の推進をお願いします。